年度 2007　学期 前期	曜日・校時　火 3	必修選択　必修	単位数　1
授業科目/(英語名)	総合英語　I Comprehensive English　I		
対象年次　1 年次	講義形態　演習	教室	
対象学生(クラス等)　Fb		科目分類　外国語科目(英語)	

担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー
担当教員:　大坪　有実　/Eメールアドレス:　r_otsubo@hotmail.co.jp　/研究室:　非常勤講師室
/オフィスアワー:　火曜日 12:00～12:50

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい/授業方法（学習指導法）/授業到達目標

授業のねらい:
ひきこもり、振り込め詐欺といった昨今の深刻な社会問題を読み、教養としての英語、実用としての英語の理解を深めることをねらいとする。
授業方法:
読む・書く・聞く・話す　の 4 技能のうち、読む・聞く　の 2 技能に重点を置く。

授業到達目標:
様々な社会問題に触れ、各トピックについて説明ができ、自分の意見が述べられるようにする。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要)
社会問題を取り扱ったテキストを、文法項目に触れながら読解していく。一回の授業で一課進む。
また、リスニングについては音読、シャドウイングなど口を動かす練習をしていく。

第1回　Introduction
第2回　Internet Suicide
第3回　Hikikomori
第4回　The ‘Hey, It’s Me” Scan
第5回　Haji and Order in Japanese Society
第6回　Gun Culture
第7回　“It Can’t Happen to Me!”
第8回　Informed Consent
第9回　Dried Carrots
第10回 “Can the Japanese Language Survive?”
第11回 Smoking
第12回 Challenged in Japan
第13回 “One People, One Culture”
第14回 Giving Peace a Chance
第15回　定期試験

キーワード	
教科書・教材・参考書	Japan Faces the 21st Century　英宝社　¥1,680
成績評価の方法・基準等	定期試験　60% 授業態度・課題　30% 積極的な授業への参加状況　10% を総合的に判断する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ/学習・教育目標	
備考(準備学習等)	